

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
人間の尊厳と自立 Human dignity and independence		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大塚 登	本館2階	火・水・木・金曜日の9時～17時		授業中に指示します
授業の概要				
「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応するための基礎となる能力を養う。				
授業の目標				
①人間を多面的に見る目を養い、人間の理解を深め、人間の尊厳と自立の重要性を説明できるようにする。 ②人間の自立の概念と構造を具体的に説明できるようにする。 ③介護を必要とする人に対する尊厳の保持と自立支援の必要性を説明できるようにする。 ④介護場面における倫理的課題に対応できる基礎知識を説明できるようにする。				
授業の方法				
講義を中心に個人の尊厳・権利侵害・社会的排除等のケース研究ならびに支援者の思い込みに対する自己省察・ディスカッションを行い、利用者の権利擁護・利用者本位の支援の重要性を理解する。				
学習の成果（学習成果）				
①福祉サービス受給者の個人の尊厳と人権擁護の重要性を説明することができる。 ②利用者本位の支援のあり方、権利擁護のあり方について説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の進め方、留意事項、成績評価について） 基本的人権と社会福祉対象者の支援状況について			
第2回目	福祉と人権① 基本的人権の尊重と社会的排除（命の選択）			
第3回目	福祉と人権② 基本的人権の尊重と福祉Ⅰ（神聖な義務）			
第4回目	福祉と人権③ 基本的人権の尊重と福祉Ⅱ（裁判と障害）			
第5回目	福祉と人権④ 社会の障害者観と自己表現Ⅰ			
第6回目	福祉と人権⑤ 社会の障害者観と自己表現Ⅱ			

第7回目	福祉と人権まとめ・日本における人権問題 課題作文	
第8回目	人間の自立と生活① 障害者の自立と生活	
第9回目	人間の自立と生活② 高齢者の自立と生活（認知症高齢者を中心に）	
第10回目	人権尊重と権利擁護① 社会福祉・介護と人権尊重	
第11回目	人権尊重と権利擁護② 事例研究を通して問題点を探る	
第12回目	人権尊重と権利擁護③ 行動の裏にある気持ちを理解する	
第13回目	人権尊重と権利擁護④ 施設における人権尊重と権利擁護の工夫	
第14回目	人権尊重と権利擁護⑤ 福祉従事者としての職業倫理	
第15回目	人間の尊厳と自立とは 授業のまとめ 課題作文	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	15%	遅刻せず出席し、授業に集中し、メモを取る、自分の考えを述べる受講態度であれば、毎回1%です。
レポート	20%	7回目の授業終了時に「社会福祉従事者としての人間観」、15回終了時に「人間の尊厳と自立」の課題作文（共に10%）。800字以上で授業内容を踏まえて（5%）、自分の考えを展開します（5%）。
調査報告書		
小テスト	65%	小テストでは知識の定着を図る穴埋め問題（10問）と自分の言葉でまとめる論述課題（1題）を出します。5%×13回=65%（毎回、穴埋め問題3%、論述課題2%）です。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「人間の理解」介護福祉士養成講座（中央法規）		
履修上の留意点・ルール		
毎回プリントを用意するので、ファイルを用意してください。		